

平成 30 年度 第 1 回学校評議委員会 報告

1 日 時 平成 30 年 6 月 19 日（火） 15：35～16：30

2 会 場 大船渡東高等学校 応接室

3 意見を求めた事項

- (1) 学校経営について
- (2) 学習指導について
- (3) 進路指導について
- (4) 生徒指導について
- (5) その他 創立 10 周年記念行事について

4 学校評議員からの意見・質問等（要点）

- 授業参観から、先生方も生徒の目を見て教え、生徒達もよく聞き、答えている。
- 学科改編について、ものづくりの学科が減るのは寂しい。
- 問題行動 4、5 月無いのが素晴らしい。
- 10 周年を機に、東高校らしい応援歌を作ってはどうか。
- 勉強だけでなく、スポーツも頑張っている。文武両道は、社会に出て行く人材にとって大切。
- いじめについて。家庭不和で問題を抱えている生徒もいると思うので、指導する際は生徒の内情をよく知ってから行って欲しい。
- 10 周年、生徒が楽しめるイベントがあった方が良かったのでは。

質問①：会社を早期に辞めた生徒へのケアはどのようになっているか。

回 答：卒業と同時に現在の職について登録するシステムがある。生徒が登録し活用出来れば良い。また、生徒の現状が把握できれば就職支援員（職安）を通じて斡旋することができる。

質問②：今年度入学者が多い要因はなにか。

回 答：大船渡高校が、本校より先に学級減した事が要因として挙げられる。

また、ここ数年高田方面の生徒が多い。普通科の高田高校より、就職を目指す事、専門的な学びが出来る事などの理由から本校を志望するのではないかと考えられる。

質問③：部活動について、各競技専門の先生を配置することは出来ないのか。

回 答：本校は、他校と比べて競技の専門スタッフが充実している。

専門スタッフ配置については、県内どの校種でも難しい問題である。